【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年7月16日(2020.7.16)

【公表番号】特表2018-506968(P2018-506968A)
【公表日】平成30年3月15日(2018.3.15)
【年通号数】公開・登録公報2018-010
【出願番号】特願2017-539255(P2017-539255)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　3/02　(2006.01)
Ａ２４Ｃ　5/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　3/02
Ａ２４Ｃ　5/18

【誤訳訂正書】
【提出日】令和2年6月1日(2020.6.1)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マルチセグメントのロッドを製造するための装置であって、
ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）をロッド様要素列（ＳＴ１）の形態で送達するフィーダー（２）と、
前記ロッド様要素列を包装材料（７）に包んで、それによって連続ロッド（ＣＲ）を形成するために、前記フィーダー（２）の下流に前記ロッド様要素列（ＳＴ１）の移動方向に位置する、包装装置（６）と、
軸方向に位置付けられたロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）の列（ＳＴ２）を形成するために、およびロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）を多数の搬送用ホイール（９、１０、１１）によって前記包装装置に移載するために、前記フィーダー（２）と前記包装ユニット（６）との間に配置された搬送ユニット（１）であって、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）が案内（２０、２１、２２）に沿って移載されるものと、
前記連続ロッド（ＣＲ）をロッド（Ｒ）に切断するために使用される切断手段（８）であって、それぞれが一組のロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）を持ち、
前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）を前記包装装置（６）に搬送する前記搬送ユニット（１）の最後の前記搬送用ホイール（１１）が、何らの突起も有しない滑らかな周辺表面（１１Ａ）を有するホイールであり、
前記搬送ユニット（１）の前記搬送用ホイール（９、１０、１１）および前記案内（２０、２１、２２）が、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）と前記ホイール（９、１０、１１）の前記周辺表面（９Ａ、１０Ａ、１１Ａ）との間の摩擦係数が、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）と前記案内（２０、２１、２２）の前記案内表面との間の摩擦係数よりも小さくなるように、前記搬送されるロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）の前記外側被覆が作製される材料に応じて選択される材料で作製されるという点で特徴付けられるものとを備えた、装置。
【請求項２】
最後の前記搬送用ホイール（１１）が、小さくした直径を有するという点で特徴付けられる、請求項１に記載の装置。

【請求項３】
前記滑らかな周辺表面を有するホイール（１１）が、前記搬送ユニット（１）のその他のホイールよりも小さな直径を持つという点で特徴付けられる、請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】
前記たばこ産業においてロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）の列を移載するための、ロッド様要素列（ＳＴ１）を受けるための入口と、多数の搬送用ホイール（９、１０、１１）と、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）を案内するための多数の案内（２０、２１、２２）と、前記ロッド様要素列を移載するための出口とを持つ搬送ユニットであって、前記搬送ユニット（１）の最後の前記搬送用ホイール（１１）が、何らの突起も有しない滑らかな周辺表面（１１Ａ）を有するホイールであり、
前記搬送ユニット（１）の前記搬送用ホイール（９、１０、１１）および前記案内（２０、２１、２２）が、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）と前記ホイール（９、１０、１１）の前記周辺表面（９Ａ、１０Ａ、１１Ａ）との間の摩擦係数が、前記ロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）と前記案内（２０、２１、２２）の前記案内表面との間の摩擦係数よりも小さくなるように、前記搬送されるロッド様要素（Ｓ１、Ｓ２）の前記外側被覆が作製される材料に応じて選択される材料で作製されるという点で特徴付けられる、搬送ユニット。
【請求項５】
最後の前記搬送用ホイール（１１）が、小さくした直径を有するという点で特徴付けられる、請求項４に記載の装置。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２２】
図４に示す通り、要素Ｓ１、Ｓ２は領域Ａでフィーダー２からホイール９上へ移載されるが、ここで、領域Ａは搬送ユニット１の入口を構成する。領域Ｂでは、要素Ｓ１、Ｓ２は、ホイール９からホイール１０へと移載され、それぞれ領域Ｃで要素はホイール１０からホイール１１へと移載され、領域Ｄでホイール１１からフォーマッティングコンベヤー５上へと移載されるが、ここで、領域Ｄは搬送ユニットの出口を構成する。回転軸Ｘの周りを回転するホイール９には、厚さがフィーダー２上の要素Ｓ１およびＳ２の間の距離ｄよりも小さい、周辺に配置された突起１２が提供されている。さらに、周辺表面９Ａ上の隣接する突起１２間のノッチ１３内を搬送される１つの要素グループ内の要素Ｓ１、Ｓ２は互いに接触しうる。回転軸Ｙの周りを回転するホイール１０の周辺表面１０Ａにある突起１４は、ホイール９の突起１２に近い厚さを持ち、同様にホイール１０のノッチ１５もノッチ１３に近い長さを持つ。回転軸Ｚの周りを回転するホイール１１は、何らの突起も有しないなめらかな周辺表面１１Ａを持つ。領域ＣとＤの間の経路で、連続的ロッド様要素Ｓ１、Ｓ２の間の軸方向の間隔は次第に減少し、またフォーマッティングコンベヤー５のベルトの速度に近くなるかまたはその速度と等しくなるように、要素の速度は減速する。連続的要素グループＳ１、Ｓ２の間の距離ｄ１は減少するか、または完全に除去される。一般的に、ロッド様要素Ｓ１、Ｓ２は、入口で送達されたよりも狭い間隔で搬送ユニット１の出口から移載される。出口から移載された後、ロッド様要素Ｓ２、ＳＴ２は、フォーマッティングコンベヤー５のベルト上の列ＳＴ２および包装材料７内にさらに移動する。